

飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想

平成 31 年（2019 年） 3 月

厚 木 市

目次

はじめに

- 1. 背景と目的..... 1
- 2. 対象範囲 1
- 3. 構想の策定手順..... 2

第1章 飯山地区の位置付けと既往計画の評価

- 1. 広域的な位置関係..... 3
- 2. 主な上位・関連計画の整理..... 4
 - (1) 厚木市観光振興計画..... 5
 - (2) 飯山地区みどり清流のふるさと創造基本計画 6
 - (3) 飯山再生プロジェクト計画 ～2年・5年・10年～ 提言書 7
- 3. 上位・関連計画に位置付けられた施策の実施状況..... 11

第2章 飯山地区及び桜の広場周辺の現況と課題

- 1. 飯山地区の現況..... 13
 - (1) 宿泊客数の動向 13
 - (2) 周辺主要観光地の入込客数（定点調査） 14
 - (3) 飯山地区の行事・祭り 15
 - (4) 桜の広場に至る道路の整備 16
 - (5) 飯山地区の地域資源..... 17
- 2. 桜の広場の現況..... 19
 - (1) 飯山桜まつりの来場者数 19
 - (2) サクラの状況 19
 - (3) 桜の広場の現況 21
- 3. 桜の広場周辺の課題整理 23
 - (1) ソフト面の課題 24
 - (2) ハード面の課題 24

第3章 桜の広場周辺整備構想

- 1. 基本方針 27
- 2. 施策メニュー..... 28
- 3. 役割分担とスケジュール 30
- 4. 事業計画シート..... 31

事業計画シート【A.魅力づくり】

A-1	桜の広場など公共空間を活用した公民連携イベントの実施	32
A-2	市民参加による桜の広場周辺の魅力づくり	34
A-3	縁結びをキーワードとしたPR（飯山縁結びプロジェクト）	35
A-4	観光情報の発信	38

事業計画シート【B.基盤づくり】

B-1	桜の広場のリニューアル.....	40
B-2	庫裡橋付近への駐車場整備	44
B-3	道路・散策道等の整備改修	46
B-4	ハイキングコース及び白山の整備	49

参考資料編

資料1	：飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想検討会 委員名簿.....	53
資料2	：飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想検討会 会議録（第1回～4回）	54

はじめに

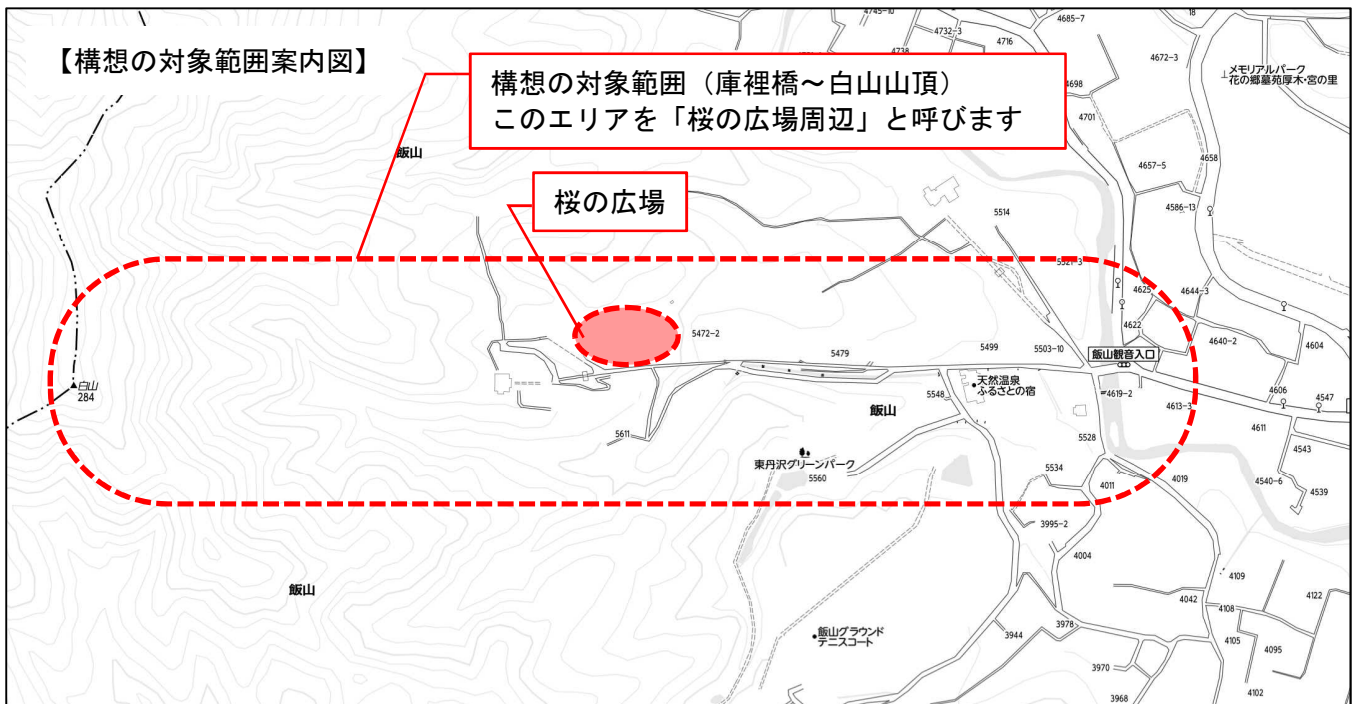
1. 背景と目的

飯山白山森林公園は、年間を通じて多くのハイカーなどが訪れる本市の貴重な観光資源の一つです。しかし、その一部である桜の広場周辺は、桜の開花時期を除くと誘客に乏しい状況となっています。また、庫裡橋から白山山頂までの区域（以降、桜の広場周辺と言います）についても、信仰や歴史、自然といった資源をいかした地域の魅力をより一層高めることが求められています。

この度、桜の広場に至る道路の拡幅整備と併せ、年間を通じて地域の魅力を一層高め、にぎわいの創出を図ることを目的として、飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想を策定します。

2. 対象範囲

桜の広場を中心として、庫裡橋から白山山頂までの範囲を対象とします。



3. 構想の策定手順

本整備構想は、飯山地区の観光振興や地域の活性化を担う多様な団体の代表者からなる「飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想検討会」での意見交換を通して策定しました。

【飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想検討会 委員構成】（順不同）

飯山観光協会、飯山温泉旅館組合、みどりと清流のふるさと創造委員会、飯山まちおこし絆の会、厚木市小鮎地区自治会連絡協議会、厚木市立小鮎公民館、(一社)厚木市観光協会、あつぎ観光ボランティアガイド協会、飯山観音長谷寺、遍照院華厳山金剛寺、龍蔵神社

【飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想検討会 開催概要】

回数	時期	議題
第1回 検討会	平成30年 7月25日(水)	(1) 検討会の目的と進め方 (2) 桜の広場周辺に関するこれまでの地元要望等の整理 (3) 飯山地区及び桜の広場の現況と課題 (4) 桜の広場周辺再整備の方向性(論点整理)
第2回 検討会	平成30年 12月25日(火)	(1) 広場周辺整備構想(案)の提示及び意見交換 (主な課題と実施すべき施策の基本方針) (2) 今後のスケジュール
第3回 検討会	平成31年 1月31日(木)	(1) 広場周辺整備構想(案)の提示及び意見交換 (施策内容の検討) (2) 今後のスケジュール ※検討会の前に現地視察会(対象エリア)を実施
第4回 検討会	平成31年 3月1日(金)	(1) 広場周辺整備構想(案)の提示及び意見交換 (事業計画と役割分担、スケジュール)

【参考】構想に基づく事業等の実施予定

本整備構想に基づく事業等の実施予定は以下のとおりです。

項目分類	H30(2018)	H31(2019)	H32(2020~)
桜の広場	■基本構想(基本計画) ■測量調査(桜の広場)	■実施設計	■工 事
庫裡橋から白山山頂まで		—	
ソフト施策	■企画立案、運営体制検討	■実施可能なものから順次実施	

第1章 飯山地区の位置付けと既往計画の評価

1. 広域的な位置関係

- 飯山地区は、七沢地区とともに丹沢山系の東端に位置しています。
- 飯山地区は、東名高速道路厚木 IC と宮ヶ瀬湖・相模湖等を結ぶレジャー動線上に位置しており、宮ヶ瀬湖や相模湖を目的地とする人々の経路地となることも期待できます。

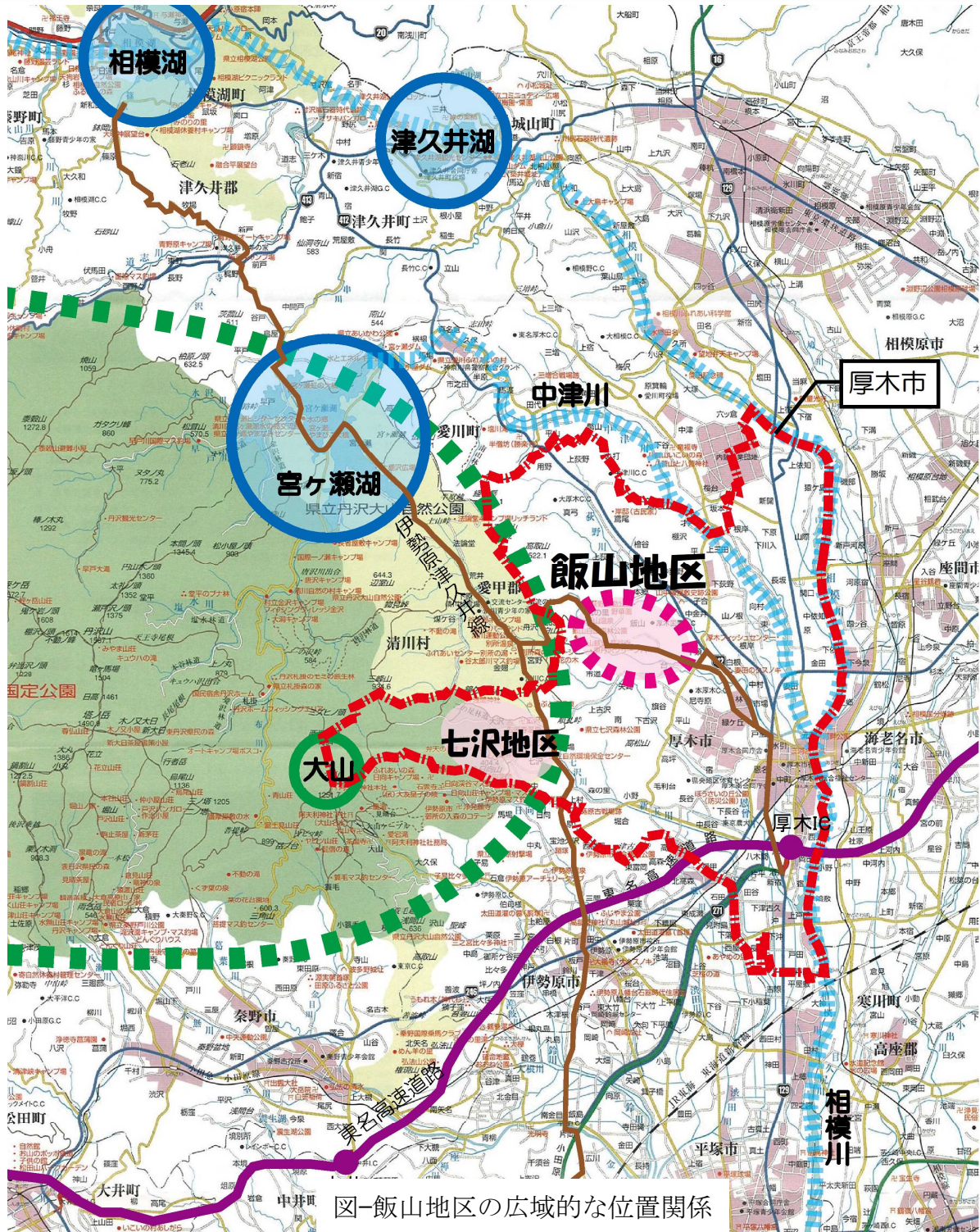


図-飯山地区の広域的な位置関係

2. 主な上位・関連計画の整理

本整備構想は厚木市観光振興計画に基づき、市内の代表的な観光地の一つである飯山地区桜の広場周辺において観光振興に係る施策・事業の具体化を図るものです。

また、みどりと清流のふるさと創造基本計画のうち、特に桜の広場周辺に係る施策について、現在の状況や地域の意向等を踏まえて具体化や見直しを図るものです。

さらに飯山地区では、地元有志の方々が結成した「飯山再生を考える会」が「飯山再生プロジェクト計画 ～2年・5年・10年～ 提言書」を策定し、いくつかのプロジェクトを実行しています。本整備構想では、提言書に位置付けた施策のうち特に桜の広場周辺に係る施策との整合を図ります。

(1) 厚木市観光振興計画

- 厚木市観光振興計画（平成 29 年 3 月改定）では、基本目標を『「自然」と「都会」をつなぐ都市（まち）』としています。
- 情報発信、内なる醸成、外との連携の 3 つの核を基本方向として施策を展開しており、飯山地区は市内の代表的な観光地として多くの施策との関連性があります。

「自然と都市をつなぐ」という方向性を継承し、豊かで文化的な都会生活（アーバンライフ）を「暮らす」「楽しむ」とする人々の志向性を重視する基本目標、そして、基本目標を具体化し、行動指標としていく本市の観光振興のためのキャッチフレーズについては、継承します。

基本目標とキャッチフレーズ

基本目標 「自然」と「都会」をつなぐ都市(まち)

キャッチフレーズ 「行こう、遊ぼう — 山と川のある都市(まち) あつぎ」

本市の観光施策の 3 つの核（「情報発信」、「内なる醸成」、「外との連携」）を基本方向とし、①あつぎを楽しむ人、②あつぎに暮らす人、③あつぎとつなぐ人へ向けて、それぞれの戦略を示します。そしてその戦略に従った 7 つの柱の体系の下、施策の方向を示し、具体的施策を展開します。

情報発信

あつぎを楽しむ人へ

- 1 自然と都市(都会)をつなぐ観光資源の再編さん
- 2 観光客の実態把握の推進
- 3 ターゲットを絞った情報発信力の強化

内なる醸成

あつぎに暮らす人へ

- 4 観光への市民参加の促進
- 5 観光まちづくりのための多様な場面設定

外との連携

あつぎとつなぐ人へ

- 6 広域観光の拠点としての可能性の追求
- 7 国際観光の取組強化

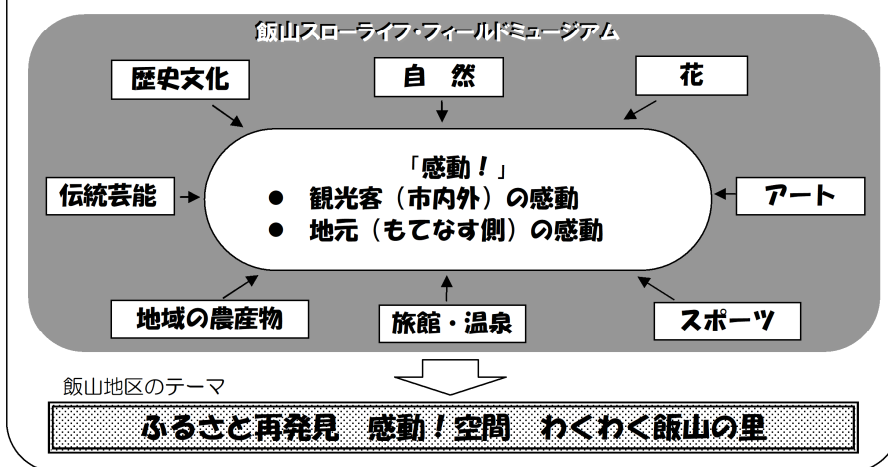
飯山地区に係る施策として「花の里」づくりの推進、「飯山エリア」ブランド化の推進、既存イベントへの市民参加の促進など（いずれも過年度からの継続施策）が挙げられていますが、宮ヶ瀬湖等との広域連携による観光推進なども飯山地区との関連性があります。

(2) 飯山地区みどりと清流のふるさと創造基本計画

- 飯山地区みどりと清流のふるさと創造基本計画（平成 19 年 3 月策定）は、厚木市アウトドアライフ基本構想（平成 14 年度）や厚木市エコ・レクの里構想（平成 14 年度）などの集大成として策定された「みどりと清流のふるさと創造基本構想（平成 17 年 3 月策定）」に基づき、飯山地区で重点的に実施する施策の展開方針やリーディングプラン等を定めたものです。

【飯山地区みどりと清流のふるさと創造に向けた展開方針】

飯山地区には観光客が感動できる多種多様な資源が豊富にあります。これらに地元のもてなしというエッセンスを加え、体験・交流できるプロジェクトを「感動！」をキーワードに展開することで、飯山地区ならではの感動空間を創造します。



【飯山地区みどりと清流のふるさと創造に向けた展開方針】

1. 飯山の地域資源をいかしたふるさと創造の拠点をつくります
2. 拠点を結ぶネットワークをつくります
3. ソフトの施策を実施します

【飯山地区リーディングプランのうち、桜の広場周辺に関するもの】

取組名	内容
ふるさとスポット、案内板の設置 (リーディングプラン A)	散策ルート沿いの小スペースや各地域資源（文化資源・自然資源等）にベンチや簡易トイレ、観光マップ等を設置し、散策する人々が休憩できる場（ふるさとスポット）を提供
四季折々の花の名所づくり (リーディングプラン E)	白山森林公園やハイキングコース沿いに四季折々の花を楽しむ樹木を植栽
飯山ブランドづくり (リーディングプラン G)	飯山ならではの食材や料理（飯山ブランド）を提供し、積極的に PR 「いのししコロッケ」「たにしコロッケ」「栗」「野菜」「豚漬け」等
観光の活性化 (リーディングプラン H)	温泉手形の発行、パケットツアーの企画、観光イベントの定期的開催、ホームページやパンフレット等による情報充実

(3) 飯山再生プロジェクト計画 ～2年・5年・10年～ 提言書

- 「飯山再生プロジェクト計画 ～2年・5年・10年～ 提言書」(平成26年10月)は、飯山地区の新たな魅力を創造するまちづくりの推進や、集客・交流・サービス拠点の形成を図ること、地域経済の発展に寄与することを目的として地元有志の方々が結成した「飯山再生を考える会」により策定されたものです。
- この提言書に位置付けられたプロジェクトのうち、桜の広場や桜の広場周辺に関するものを以下に示します。

【飯山再生プロジェクトのうち、桜の広場周辺に関係するもの】

項目	プロジェクト名称
桜の広場に関する事	「27. 桜の広場再整備・扇の広場の有効活用」
桜の広場周辺に関する事	「8. 長谷寺・飯山観音の存在・縁結びを活用した取組」 「11. 飯山白山 「白龍展望台」「縁結びのモニュメント」 白山神社を活用したイベント作戦 「12. 観光地の必須条件の充実」

27、桜の広場再整備・扇の広場の有効活用

○桜「長期的に魅せる」再生、継続的維持管理による再整備

桜の広場内の「さくら」再生配置計画を策定し、さくら寿命を考慮した継続的に管理運営を行うために、老木化した桜の枝打ち・消毒・伐採・植樹を計画的に行っていただきたい。

また、広場内は、起伏と傾斜の構造になっているため平坦化、さらに「ステージ」の移設（長期計画）を望む。また、夫婦松のある築山を崩し、広場内の再整備を行っていただきたい。

扇の広場は、県管理として、以前は市民に広く親しまれた広場だったが、最近は獣害による「ヤマビル」が大発生、人が寄り付かない公園になった。厚木市において、獣害被害防止対策を徹底するよう要望します。再び賑わいのある公園を取り戻す努力を要望します。

「桜並木の若返り作戦」桜の老木化、将来を見据えた「計画的維持管理」を策定するよう要望します。

8、長谷寺・飯山観音の存在・縁結びを活用した取り組み

○高野山 真言宗 飯上山長谷寺（いいがみさんちょうこくじ）神亀2（725）年開創

長谷寺は、今から 1300 年近くの前に、奈良時代の名僧行基菩薩によって開かれたこ古刹です。坂東三十三ヶ所観音霊場の第六番でもあり、「飯山観音」の通称で親しまれています。

毎年 4 月 8 日の灌仏会（お釈迦さまのお誕生日）には、ご本尊のご開扉が行われますが、その日に、境内にある「見合いの松の木」の下でお見合いをすると、縁談がまとまるといわれています。このことから、縁結びのお寺としても有名です。しかし、・・・・

関東地方で探す縁結びの 15 社寺に入る。高崎神社・日光二荒山神社・鶴岡八幡宮など
写経と講和：年間を通じて開催する。

長谷寺本堂



飯山白山桜の広場



11、飯山白山「白龍展望台」「縁結びのモニュメン」白山神社を活用したイベント作戦

○白山（標高 284m）の活用

白山神社：白龍の発祥地

白山池：飯山七不思議の一つ

白山展望台：新たな飯山白山自然公園の魅力を発信していただきたい。大型展望台（東京都心やスカイツリー、横浜など一望）を再整備することを要望する。樹木より高い展望にすることで、360度パノラマが期待される。

ロープウエーが設置できるかどうか検証していただきたい。「自然と景観を配慮する」

○白山頂上「白龍の展望台」建設が実現したら、「飯山の里」に新スポットが誕生。

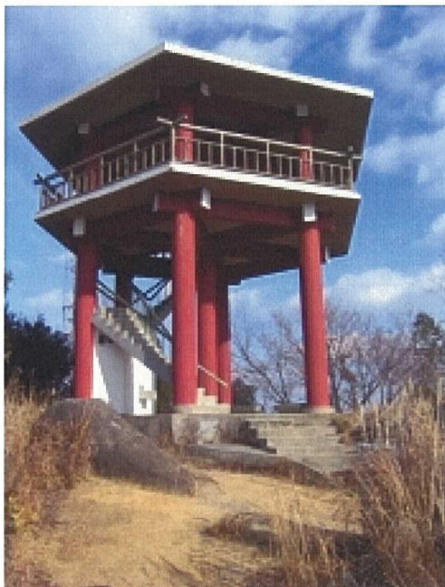
飯山街道を戸室・林・及川から北上すると、大山丹沢の東端に、飯山・白山と華巖山の山並みが目に入る。先人達は、ここを「信仰の聖地」として、尊い土地と定めたとと思われる。聖地の条件として、背後に山を控え山中に大樹をもち、清らかな水が湧き出ている土地であったこと。

正に飯山の里は、聖地に相応しい条件をそなえた豊かな所であったからこそ「飯山観音・長谷寺」「金剛寺」や「龍蔵神社」が今にあり、「阿弥陀如来」「黒地藏」「白地藏」等の文化財が残り、つぶね法師・七不思議や西行の戻り橋などの伝承話が今に伝わるのである。

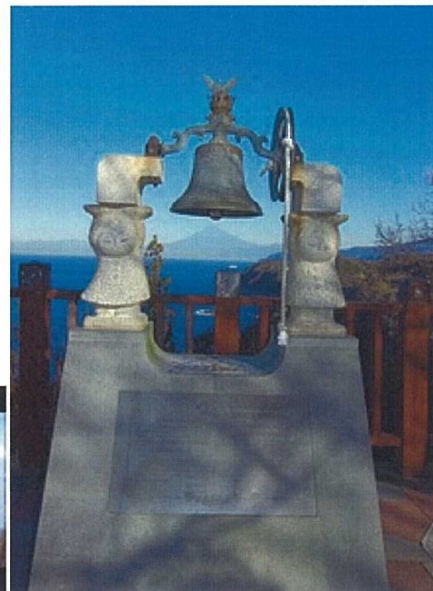
○縁結びのモニュメントを白山頂上に設置し、飯山にふさわしい新たな発想で整備していただきたい。

白山全体の下草刈りの実施：全体的に荒れた山である。間伐も含め光を当て、山菜作りなどに挑戦
散策道：新たな登山道の整備と既存の再整備を行い、

展望台（イメージ）



愛の鐘（イメージ）



12、観光地の必須条件の充実

大型バスの乗降場、トイレ完備、特産品などの販売、食事処の充実など

○来訪者が訪れやすい環境づくり。

「飯山の拠点づくり」観光案内も存在しない観光地で良いはずがない。

寄ってみたいが、[駐車場・トイレ]がない、簡単な[お食事・お土産]も欲しいが、との要望が多く寄せられている。飯山温泉郷のお湯は良いが・・・・

毎週土・日、飯山観音前のバス停を降りる来客者から話を聞くと、どのコースを回られますか、飯山から七沢へ向かうと話す、七沢には、お食事処や温泉場が揃っているからと応える。七沢からのコースでは、飯山周辺には楽しみがないからと応える

観光地としての受け入れ態勢の強化が必要だ、来訪者の立場に立った「お・も・て・な・し」の心を大事にしたいものです。

飯山の拠点に「ホット足湯」設置、来訪者が一瞬ホットする足湯サービス

飯山の拠点（イメージ）



ホット足湯（イメージ）



3. 上位・関連計画に位置付けられた施策の実施状況

- 上位計画や関連計画に位置付けられた施策について、平成 30 年度時点の進捗状況を整理すると以下のとおりです。既に取り組んでいるもの、今後取組を予定しているもののほか、各種の制約や課題により保留となっているものもあるため、本整備構想ではこれらの進捗状況を踏まえて取り組むべき施策を改めて検討する必要があります。

【飯山地区みどりと清流のふるさと創造基本計画に位置付けられたリーディングプランのうち、桜の広場周辺に特に関係するものの進捗状況】

取組名	内 容	状 況	備 考
ふるさとスポット、案内板の設置 (リーディングプラン A)	散策ルート沿いの小スペースや各地域資源（文化資源・自然資源等）にベンチや簡易トイレ、観光マップ等を設置し、散策する人々が休憩できる場（ふるさとスポット）を提供	未	
四季折々の花の名所づくり (リーディングプラン E)	白山森林公園やハイキングコース沿いに四季折々の花を楽しめる樹木を植栽	保留中	断続的に苗木の植樹等を行っているものの生育不良などで取組が進んでいない
	季節ごとに様々なサクラや紅葉等を楽しめるように植栽	保留中	
飯山ブランドづくり (リーディングプラン G)	飯山ならではの食材や料理（飯山ブランド）を提供し、積極的に PR 「いのししコロッケ」「たにしコロッケ」「栗」「野菜」「豚漬け」等	一部実施済	
観光の活性化 (リーディングプラン H)	温泉手形の発行、パックスツアーの企画、観光イベントの定期的開催、ホームページやパンフレット等による情報の充実	—	

【飯山再生プロジェクトのうち、桜の広場周辺に関するものの進捗状況】

取組名	内 容	状 況	備 考
8. 長谷寺・飯山 観音の存在・縁結 びを活用した取組	写経と講和を年間通じて開催する。	未	
11. 飯山白山「白 龍展望台」「縁結び のモニュメント」 白山神社を活用し たイベント作戦	ロープウェイの設置可能性を検証 ・自然と景観を配慮	未	
	白龍の展望台整備	未	
	縁結びのモニュメントを白山頂上に 設置	未	
12. 観光地の必須 条件の充実	大型バスの乗降場、トイレ完備、特産 品の販売、食事処の充実など、来訪者 が訪れやすい環境づくり	未	
	飯山の拠点に「ホット足湯」の設置	未	
27. 桜の広場再整 備・扇の広場の有 効活用	桜の広場 ・老朽化した桜の枝打ち・消毒・伐採・ 植樹を 計画的に行う。 ・広場内の平坦化 ・ステージの移設 ・夫婦松のある築山を崩す。	随時対応	
	扇の広場 ・獣害被害防止対策を徹底する。	済	

第2章 飯山地区及び桜の広場周辺の現況と課題

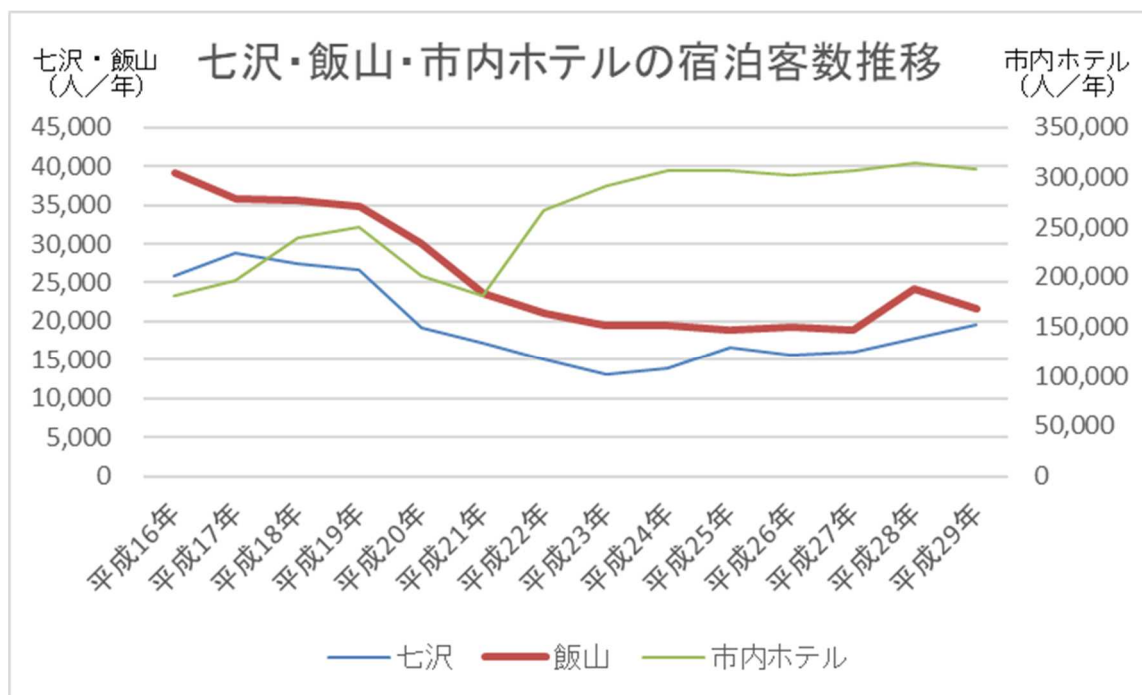
1. 飯山地区の現状

(1) 宿泊客数の動向

- 市内のホテル（七沢・飯山除く）を利用する宿泊客は H22～H24 年頃にかけて増加し、その後横ばいとなっています。
- 七沢・飯山の温泉旅館の宿泊客は反対に H23 年頃まで減少し、その後横ばいとなっています。

七沢・飯山・市内ホテルの宿泊客数の推移 単位：人

年次	七沢	飯山	市内ホテル
平成16年	25,805	39,086	181,534
平成17年	28,831	35,724	196,655
平成18年	27,404	35,605	240,056
平成19年	26,657	34,854	250,736
平成20年	19,106	30,080	200,583
平成21年	17,281	23,536	180,940
平成22年	14,997	21,137	267,028
平成23年	13,096	19,448	291,350
平成24年	13,785	19,443	306,953
平成25年	16,703	18,917	306,503
平成26年	15,698	19,225	302,021
平成27年	15,954	18,826	306,953
平成28年	17,767	24,288	313,771
平成29年	19,643	21,706	308,443



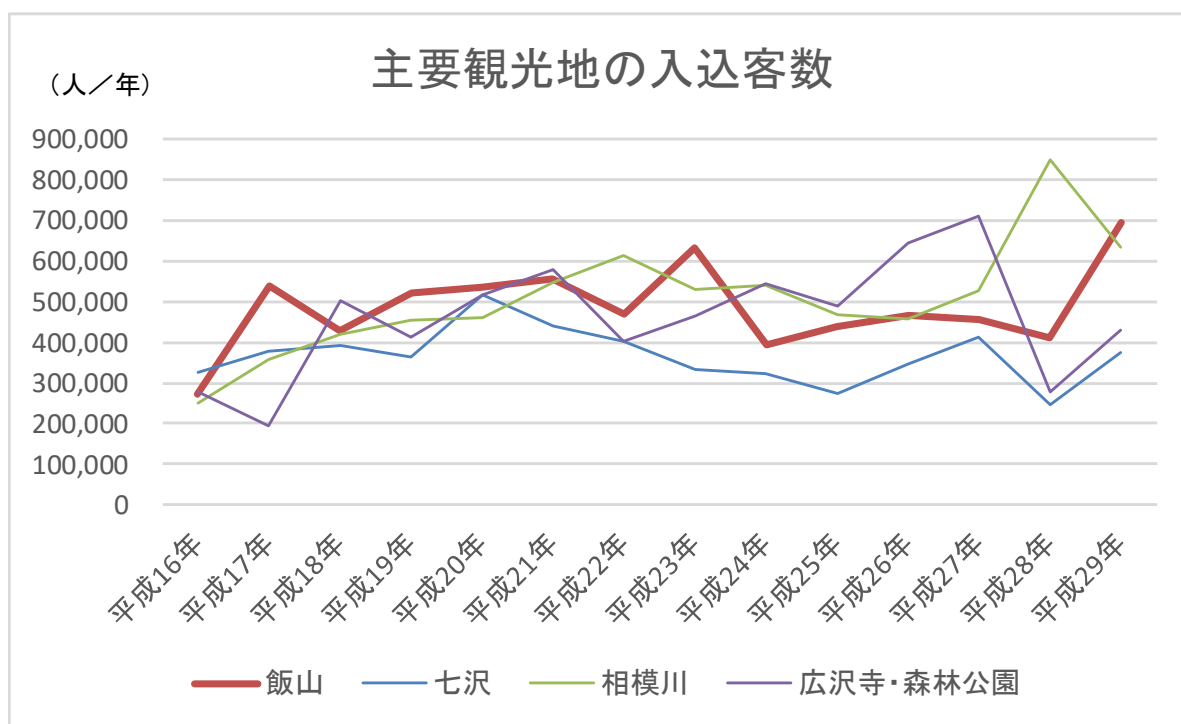
(2) 周辺主要観光地の入込客数（定点調査）

- 年度によって増減がありますが、飯山地区には年間 40～50 万人程度の入込客数があります。

※入込客数は、年 4 回の実測調査に係数を掛けて算出しているものです。そのため年度間で大きな増減が生じることがあります。

主要観光地の入込客数（定点調査） 単位：人

年次	飯山	七沢	相模川	広沢寺・森林公園
平成16年	271,485	326,136	250,940	278,346
平成17年	537,634	377,138	356,572	196,655
平成18年	426,800	391,616	418,325	501,290
平成19年	523,242	363,909	452,716	411,236
平成20年	535,984	516,107	462,593	517,534
平成21年	554,794	438,814	546,115	577,847
平成22年	468,611	402,637	613,737	400,792
平成23年	633,865	334,645	531,437	462,812
平成24年	395,224	323,064	538,854	543,663
平成25年	436,922	273,314	467,714	489,107
平成26年	467,756	345,201	458,289	645,063
平成27年	454,163	411,410	526,146	711,275
平成28年	411,986	245,389	848,602	277,382
平成29年	693,803	374,138	634,166	430,935



(3) 飯山地区の行事・祭り

- 飯山地区では、「花」に関するイベントと、観音様など「社寺」に関する行事が多くあります。

○飯山の主な年間行事

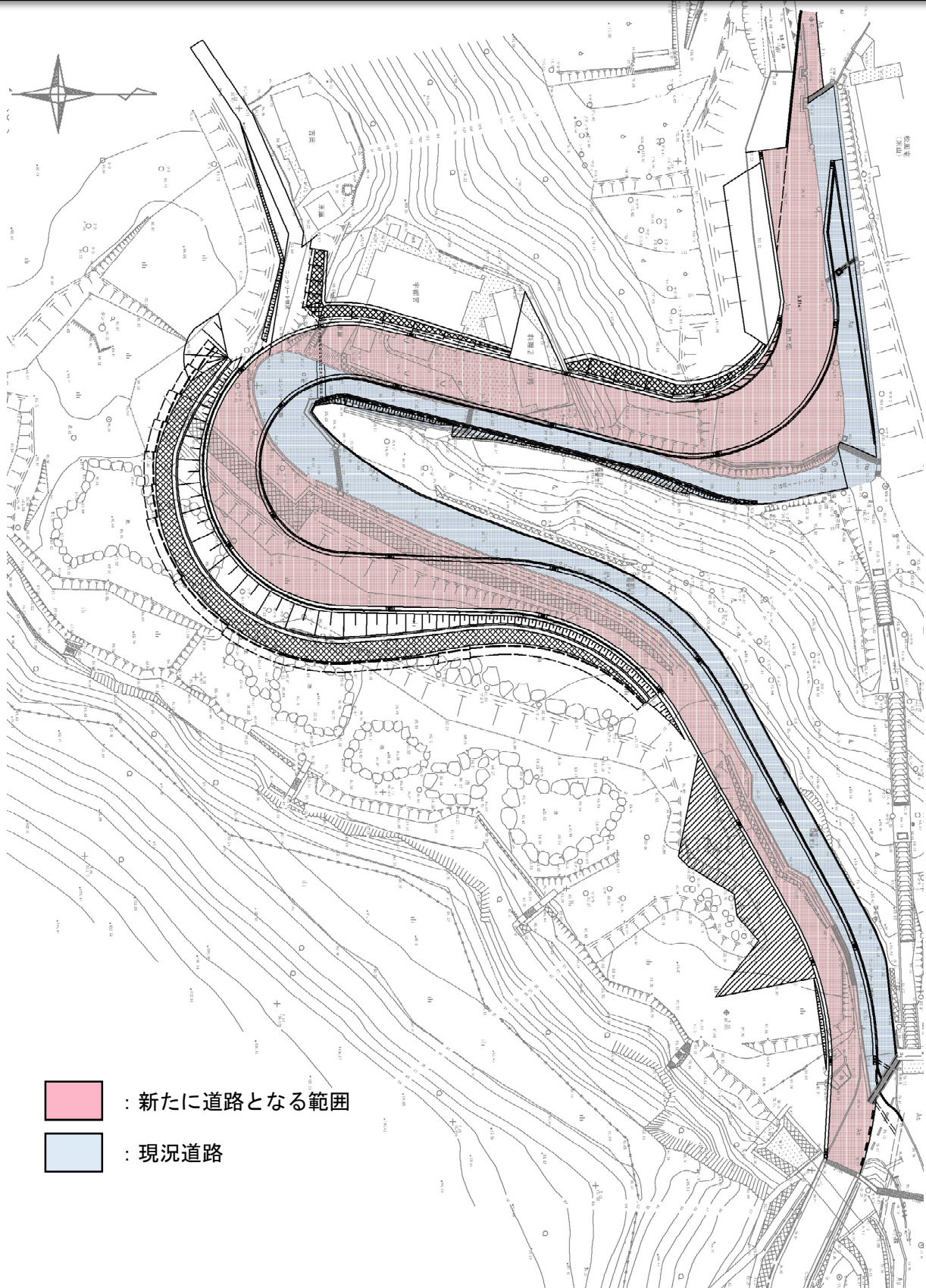
- ・12月年末年始 飯山観音長谷寺・龍蔵神社初詣
- ・1月中旬 各自治会による「ドンド焼」
- ・2月上旬 初午
- ・3月下旬～4月上旬 「土～日までの9日間」
あつぎ飯山桜まつり 桜まつり実行委員会 主催厚木市
飯山観音では、お釈迦さま誕生日4月8日が土・日の場合、「お稚児行列」
「飯山の町」で栄えた。金剛寺参道に、のぼり旗、出店、大勢で賑わった。
また、さくら広場の馬場では、草競馬・オートレースが開かれた。
平成26年には、第50回の開催となった。
- ・4月8日 飯山観音例大祭 総代世話人
- ・4月12日 地蔵尊供養&お花見会「橋場自治会」
- ・5月上旬 あつぎつつじの丘公園まつり 上古沢緑地 厚木市環境保全公社
- ・5月上旬 花の里 ポピーまつり みどりと清流のふるさと創造委員会
- ・6月中旬 あつぎ飯山あやめまつり あやめまつり実行委員会
- ・8月1日 龍蔵神社 例大祭 氏子総代
- ・11月2日 飯山秋の花まつり 実行委員会主催（飯山観光協会・みどりと清流のふるさと創造委員会・飯山まちおこし絆の会・小鮎地区わな設置協議会など）
- ・11月3日 33観音法要 飯山観音
- ・11月15日 七五三 龍蔵神社

- お祭り・自治会行事には、「白龍太鼓・白龍の舞い」が花を添える。

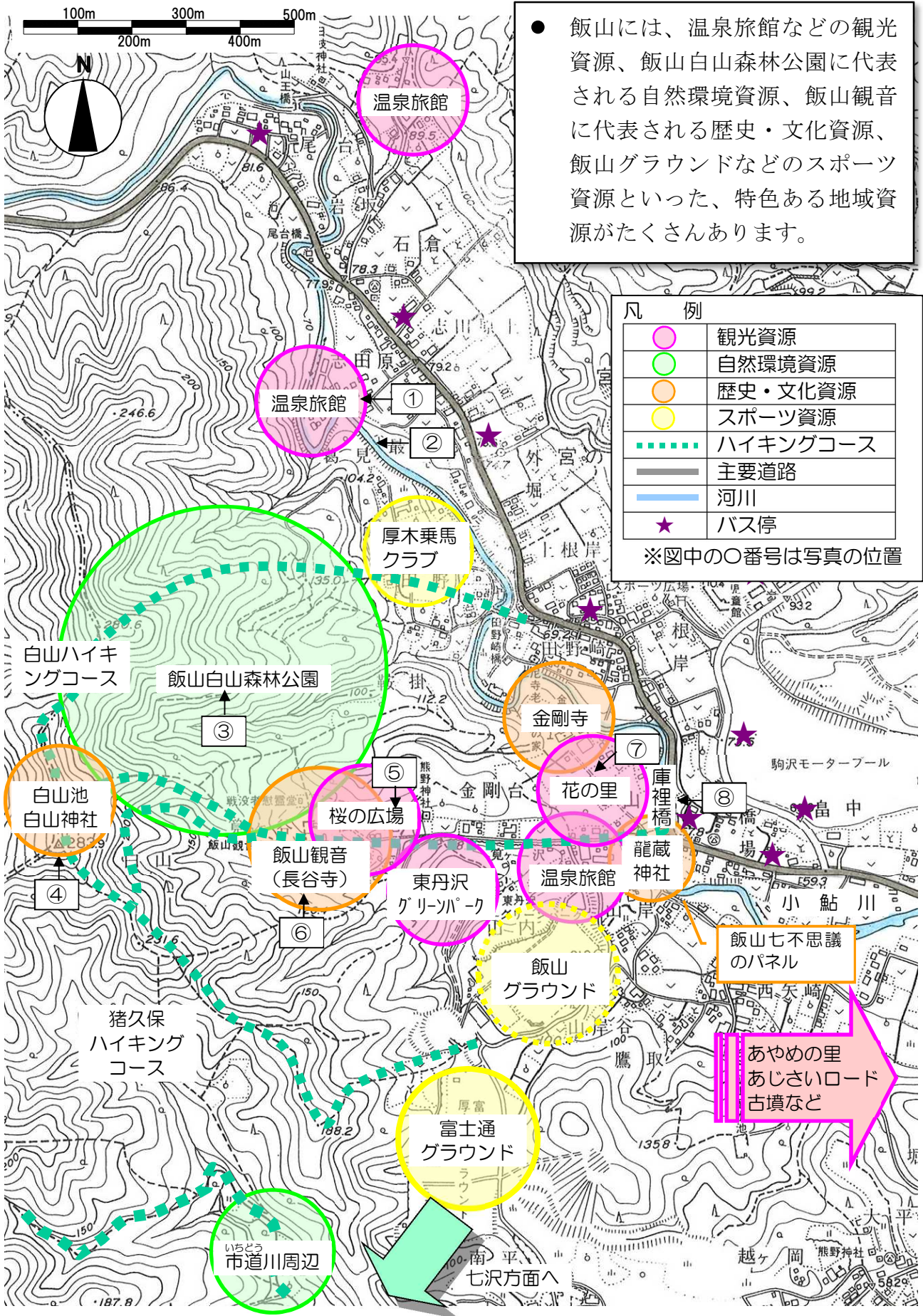
出典：飯山再生プロジェクト計画

(4) 桜の広場に至る道路の整備

- 桜の広場に至る道路は、平成 30～31 年度にかけて拡幅工事に着手しています。この工事により、桜の広場や飯山観音までの自動車によるアクセス性が向上します。



(5) 飯山地区の地域資源





① 落ち着きある佇まいの温泉旅館



② 旅館脇を流れる小鮎川



③ 林床が適度に管理された公園の斜面



④ 都心まで見渡せる白山山頂



⑤ 多くのサクラが植えられた桜の広場



⑥ 坂東三十三観音霊場の第六番札所 飯山観音



⑦ 地元団体により継続的に維持管理されている花の里



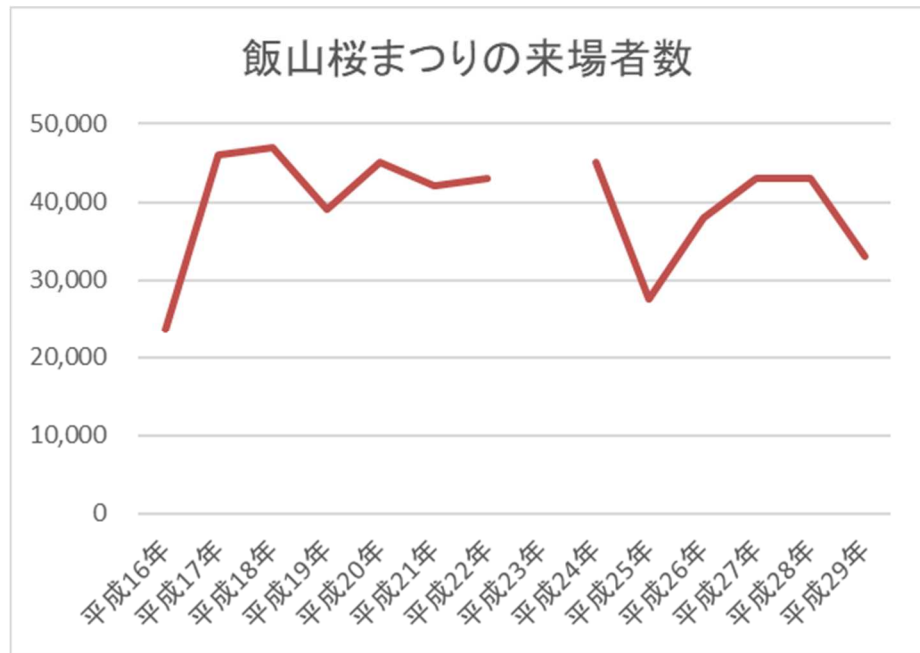
⑧ 観光ムードを高めるアーチがある庫裡橋

2. 桜の広場の現況

(1) 飯山桜まつりの来場者数

- 年度によって増減がありますが、毎年3万人～4万人程度の来場者数があります。

飯山さくら祭りの来場者数	
年次	来場者数
平成16年	23,550
平成17年	46,000
平成18年	47,000
平成19年	39,000
平成20年	45,000
平成21年	42,000
平成22年	43,000
平成23年	
平成24年	45,000
平成25年	27,500
平成26年	38,000
平成27年	43,000
平成28年	43,000
平成29年	33,000



※H23年は東日本大震災直後のため中止

(2) サクラの状況

- 傷みのある不健全な桜などは H24 年～H27 年にかけて一通り除去していますが、その後も天狗巢病などが多くみられています。
- 平成 30 年度に桜の広場で実施した土壌調査診断では、「土壌の締め固まり、通気不良、透水（排水）不良がみられ、根の生育に障害を与え樹勢衰退原因の一つになっていると考えられる」と報告されています。（診断結果は次ページ参照）

ランク別樹木数(年度末時点での本数)

ランク\年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
Aランク	9	10	10	12	14	14	植栽した樹木はAランクにカウントする
Bランク	23	23	23	23	23	23	
Cランク	37	37	37	26	18	18	
Dランク	17	14	2	0	0	0	
Eランク	13	0	0	0	0	0	
合計	99	84	72	61	55	55	

【参考】飯山白山森林公園サクラ樹林土壌診断調査の概要（平成31年2月）

■ 調査結果の考察

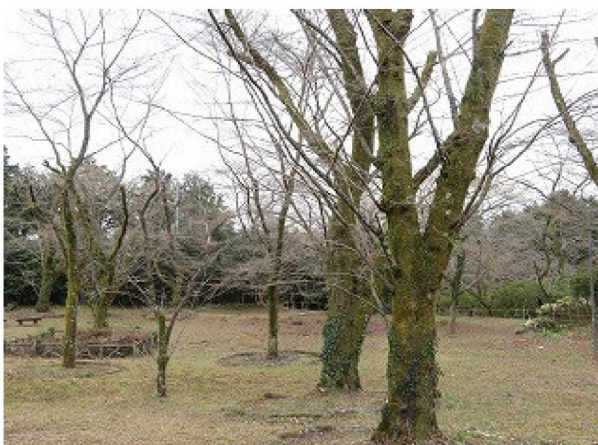
調査を行った2地点には、土壌の締め固まり、通気不良、透水（排水）不良がみられ、根の生育に障害を与え樹勢衰退原因の一つになっていると考えられます。ソメイヨシノは、地表の比較的浅い位置に根を広げる浅根性で、酸素要求度が大きい樹木です。養水分を吸収する吸収根も比較的浅い位置に多くあるため、土壌の締め固まりは根の生育にとって大きな障害となります。土壌が固く締まった場所では、エアレーションや有機系の土壌改良材などを施用し、土壌の締め固まりと保肥力について改善を行い、人止め柵の設置など土壌が再び締め固まらないようにする事が肝要です。また、ソメイヨシノは透水（排水）性の良好な土壌が適しているため、地下水の停滞がみられる場所では透水（排水）改善を最優先し、暗渠排水や心土破碎など改善策について検討する事が必要です。

今回調査を行った2地点は地形の特徴を考慮し選定していますが、土壌環境が不良な範囲については調査地点を増やし、全体の土壌環境について把握する事が望ましいと思われま

■ 樹勢衰退原因の考察

ソメイヨシノの樹勢衰退原因として土壌環境の他、周辺環境や病害、管理など様々な要因が影響していると考えられます。本調査地のソメイヨシノにはてんぐ巣病が多発していますが、幹や太枝にコケ類が厚く着生している事から、空中湿度が高く病害が広まりやすい環境である事が推測されます。また、日当たりの改善や下枝の成長促進を目的とした大枝切除は、傷口が大きく樹勢の低下を伴うため、てんぐ巣の感染が広がった原因の一つとして考えられます。ソメイヨシノはてんぐ巣病に感受性が高い品種であるため、植え替えの際にはてんぐ巣病に比較的強い「神代曙」や「小松乙女」などへの品種転換についても検討する事が望ましいと思われま

また、根頭がんしゅ病や根こぶ線虫病などの土壌病害も樹勢を衰退させる原因になりますので、発生状況について把握する事が必要です。

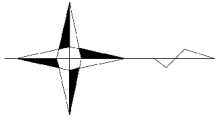


幹に厚く着生したコケ類

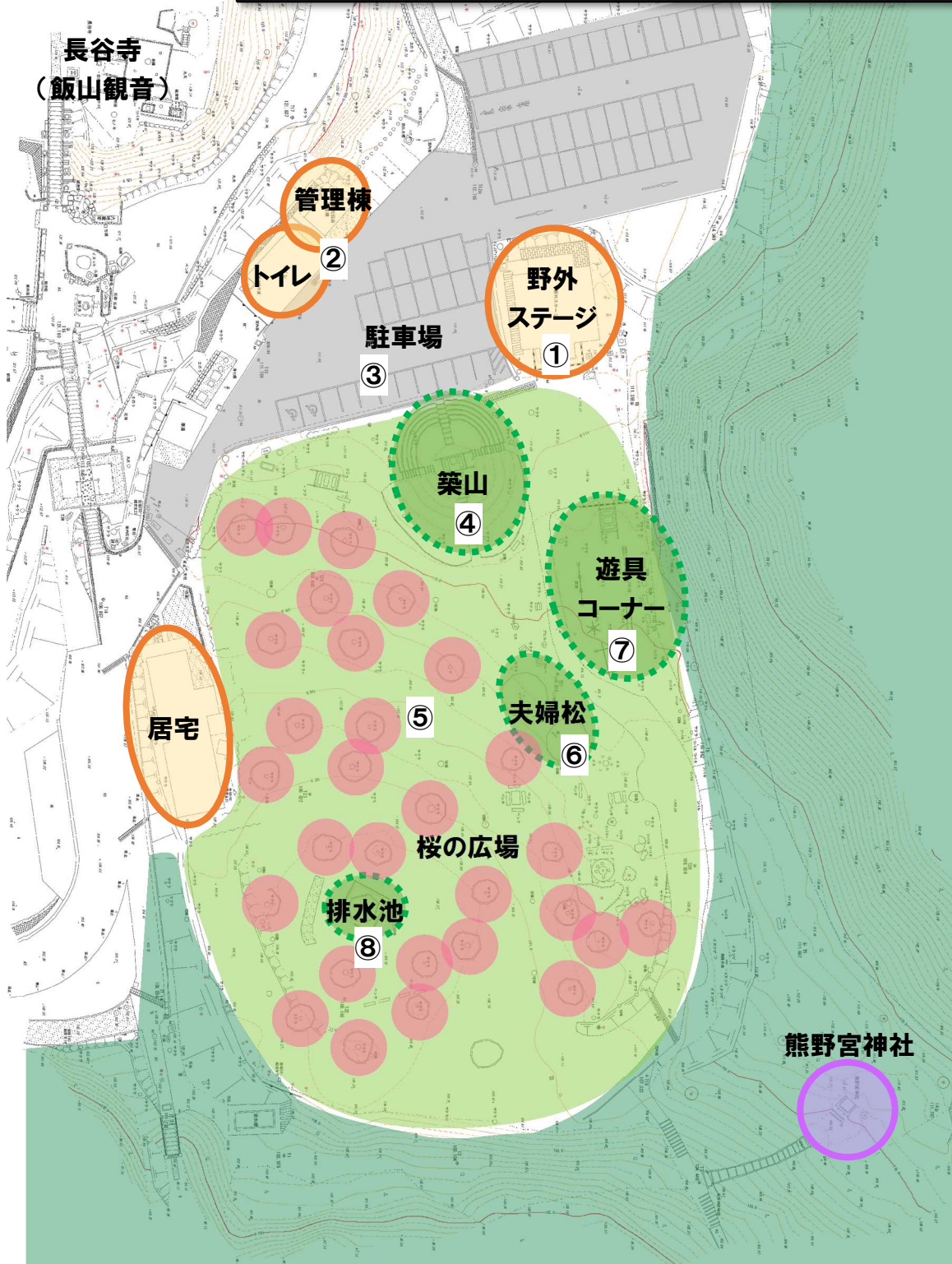


罹病枝(てんぐ巣病)

(3) 桜の広場の現況



- 桜の広場の現況は下図のとおりです。
(図中の○番号は次ページの写真と対応)
- アクセス道路の整備と平行して、長谷寺による駐車場の整備が進められています。



0m

50m



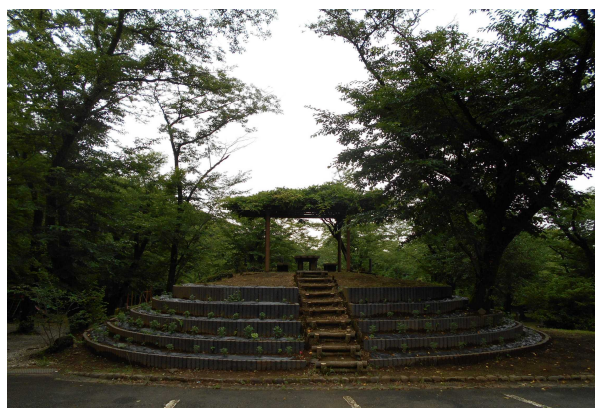
①野外ステージ（白龍太鼓お披露目時の様子）



②トイレと管理棟



③長谷寺が整備している駐車場



④築山があるため奥が見通しにくい



⑤広場内に多くのソメイヨシノが植えられている



⑥夫婦松は縁結びの資源として貴重



⑦遊具も老朽化している



⑧すりばち状の地形の低い位置にある排水池

3. 桜の広場周辺の課題整理

桜の広場周辺の地域資源をいかした観光機能の強化と地域の再生に向けた課題を、ソフト（魅力づくり）とハード（基盤）に分けて整理します。

(1) ソフト面の課題

- ソフト面の課題として、「①桜の広場など公共空間の活用」「②市民参加の促進による観光活性化」「③縁結び資源の活用」「④観光情報の一層の発信」が挙げられます。

①桜の広場などの公共空間の活用

桜の広場は、平常時はハイカーやトレイルランナー、ピクニック、長谷寺への参拝客の休憩、憩い、軽散策の場として、また、サクラの開花時期には桜まつりや花見で市内外の来訪者に親しまれています。

これらの場面以外にも定期的にイベントを行うことにより飯山地区の認知度を高め、平常時の利用者の増加にもつながります。

近年では、まちなかにおける公共空間（パブリックスペース）を活用した賑わいづくりなども盛んに行われており、飯山の自然や文化をいかしたしゃれた空間演出（いわゆる「インスタ映え」）を図ることでSNSによる口コミなどで情報が伝わり、意外なほど若者が集まるイベントになることもあります。

②市民参加の促進による観光活性化

散策コースや桜の広場などにはサクラなどの花木や草花などを植えていくことが求められています。この植樹や植栽の活動に市民の方々や民間企業・大学など様々な立場の方に関わっていただくことで、飯山への愛着が生まれ、リピーターとして継続的に飯山を訪れてもらえるようなきっかけになることが期待できます。

③縁結び資源の活用

飯山観音は、坂東三十三観音霊場の第六番札所やサクラ・アジサイの名所というだけでなく、縁結びの観音様としても広く知られています。桜の広場の夫婦松も代替わりをしながら結婚の幸せを願う、飯山の象徴として2015年3月に復活しました。

この飯山観音を中心に「縁結び」をキーワードとして飯山をPRし、周辺地域を含めた観光振興へとつなげていくことが求められます。

④観光情報の一層の発信

飯山には、登山家・岩崎元郎氏が「首都圏の身近なハイキングコース」と表現した（検討会委員より）ように、本格的なハイキングが身近に体験できる自然があります。また、飯山には自然資源だけでなく温泉、郷土料理、信仰と結びついた生活文化などの豊富な地域資源があります。

来訪者を呼び込むためには、これらの魅力ある地域資源を情報発信していくことが必要ですが、現在のところ飯山地区を総合的に案内する観光パンフレットはありません。また、観光案内機能を有する施設も飯山地区にはありません。

(2) ハード面の課題

- ハード面の課題として、「①桜の広場の使い勝手の向上」「②来訪者の交通動線の改善」「③道路や散策道の景観形成」「④ハイキングコースや白山山頂の観光基盤強化」が挙げられます。

①桜の広場の使い勝手の向上

桜の広場は長谷寺に隣接し、ハイキングコースの起点となる重要な立地にあります。サクラの時期以外ではハイキング客の休憩などで利用されるだけの状況となっています。

また、遊具や休憩施設も設置されていますが、老朽化が進みあまり利用されていません。

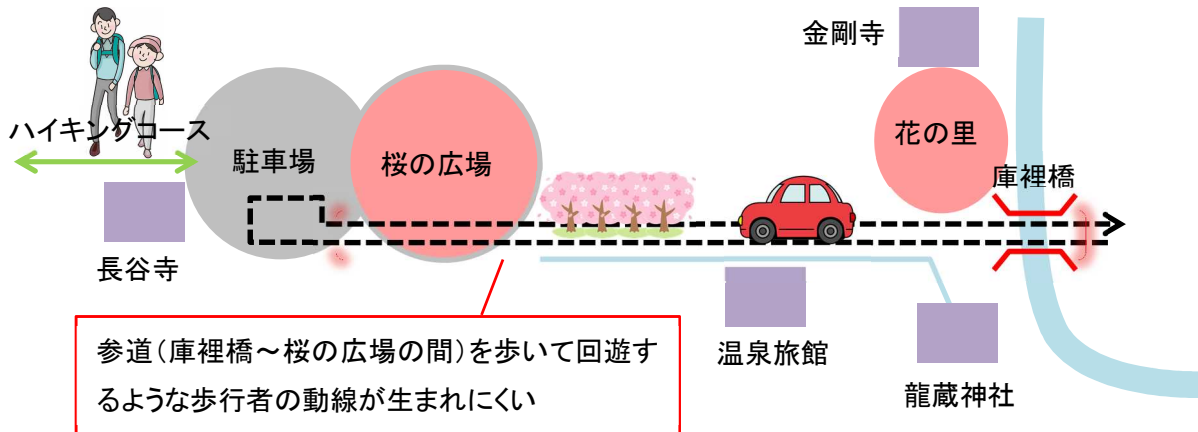
しかし、まばらながらもハイキング客の休憩やピクニックで利用する姿も見受けられるため、老朽化した施設を更新し、使い勝手を向上させることができれば、そのような行動での利用客が増加するポテンシャル（可能性）は感じられます。



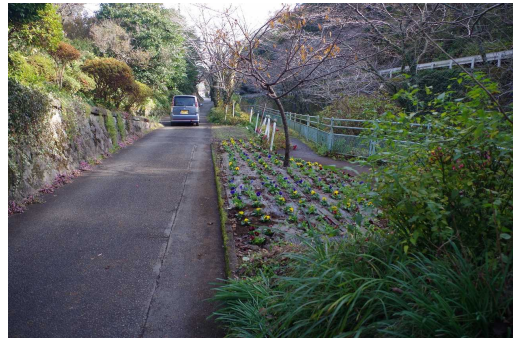
左:老朽化が進む休憩施設や遊具
中央:サクラが咲く時期の桜の広場は
活気づいている
右:桜の広場でピクニックを楽しむ
ご夫婦

②来訪者の交通動線の改善

白山森林公園の公共的な駐車場は、参道奥の長谷寺・桜の広場入口にあります。そのため、車での来訪者は、花の里や温泉旅館を通り過ぎてしまい、参道（庫裡橋～桜の広場の間）を歩く来訪者の姿が少なく、賑わいを感じることができません。



地域の方々により花が植えられた
気持ちの良い散策道だが、
歩く人はほとんどいない



③道路や散策道の景観形成

桜の広場に至る道路は、平成 30 年度から拡幅工事に着手しています。この工事により庫裡橋から桜の広場までのアクセス性が向上します。しかし、造成による擁壁や法面の周辺景観とのマッチングなどの課題があります。

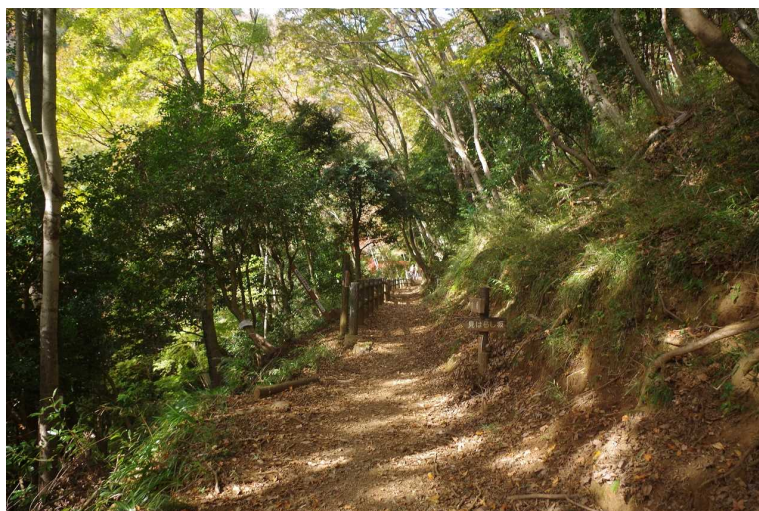
また、庫裡橋から白山山頂までがサクラで結ばれた一面のサクラの里を形成することは、地域の積年の思いです。さらに、春だけでなく季節ごとに異なる花や紅葉が楽しめるようになれば、年間を通じて来訪者の集客が期待できます。



④ハイキングコースや白山山頂の観光基盤強化

男坂、女坂に代表される白山コースには、部分的に危険な箇所があることや休憩場所が少ないこと、また、案内サインが不足しているなどの課題があります。山頂には展望台がありますが、経年劣化が進んでいる状況です。

コース沿いにはヤマザクラなどがありますが、周りの樹木によって麓からはサクラが見えない状況にあります。



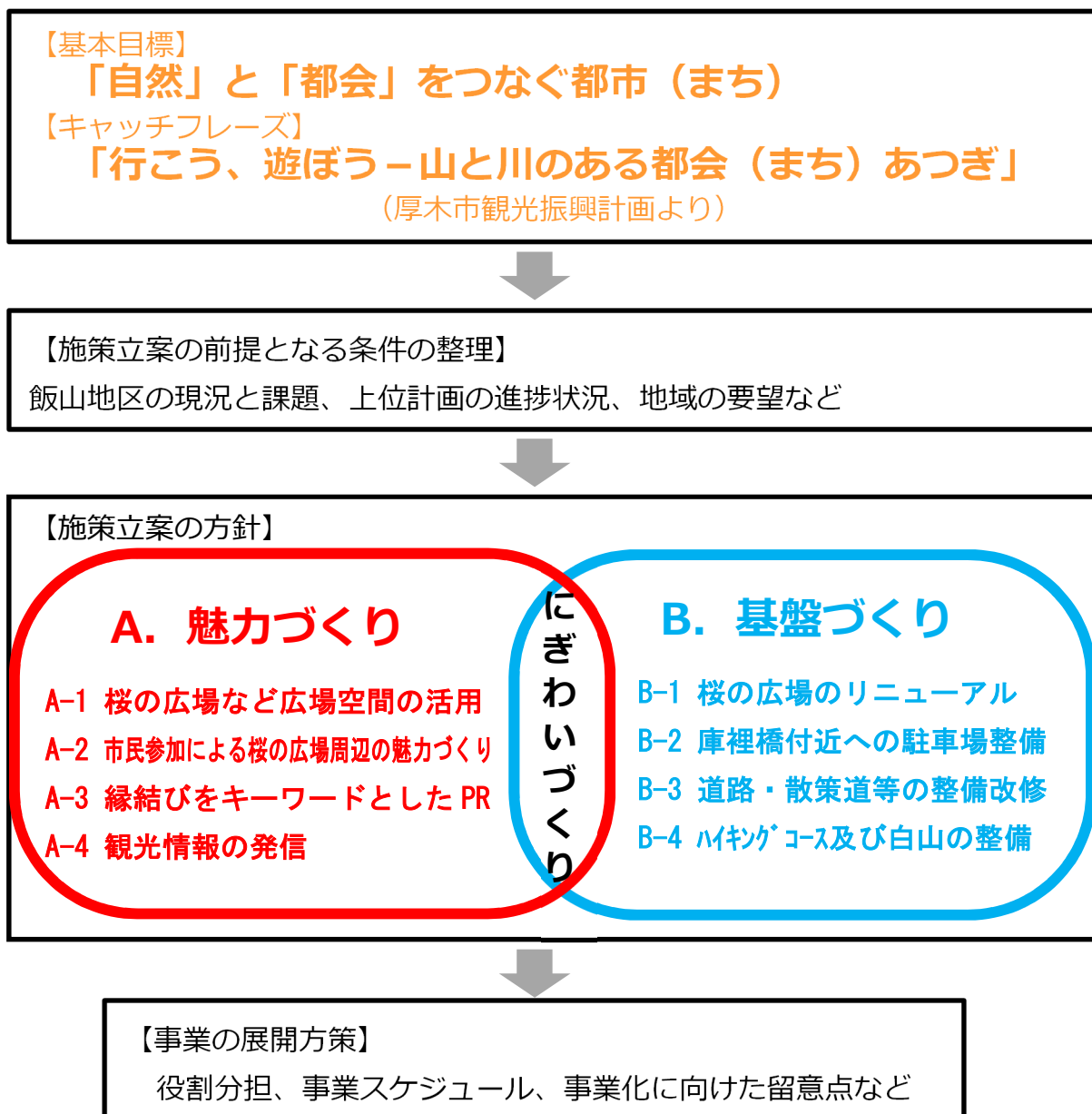
ゆるやかな白山(女坂)コース

第3章 桜の広場周辺整備構想

1. 基本方針

- 飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想は、厚木市観光振興計画が定めた基本目標とキャッチフレーズに基づき、飯山地区の地域特性と桜の広場周辺の課題を踏まえ、以下のとおり「A. 魅力づくり」と「B. 基盤づくり」の両輪で施策を展開していくこととします。

飯山白山森林公園桜の広場周辺整備構想の基本方針



2. 施策メニュー

- 施策メニューは、課題に対応して「A. 魅力づくり」で4つ、「B. 基盤づくり」で4つとします。

A. 魅力づくり

【課題】

【施策メニュー】

①桜の広場など公共空間の活用

A-1 桜の広場など公共空間を使った
公民連携イベントの実施

②市民参加の促進による観光活性化

A-2 市民参加による桜の広場周辺の魅力づくり

③縁結び資源の活用

A-3 縁結びをキーワードとしたPR

④観光情報の一層の発信

A-4 観光情報の発信

B. 基盤づくり

【課題】

【施策メニュー】

①桜の広場の使い勝手の向上

B-1 桜の広場のリニューアル

②来訪者の交通動線の改善

B-2 庫裡橋付近への駐車場整備

③道路や散策道の景観形成

B-3 道路・散策道等の整備改修

④ハイキングコースや白山山頂
の観光基盤強化

B-4 ハイキングコース及び白山の整備

【施策メニューと内容一覧】

区分	メニュー		内容
A 魅力づくり	A-1	桜の広場など公共空間を活用したイベントの実施	サクラの時期以外の来訪者の誘致や飯山地区の認知度向上、イメージアップを目的として、桜の広場などの公共的な空間を活用したイベントを実施する。
	A-2	市民参加による桜の広場周辺の魅力づくり	民間企業や大学等と連携した植樹祭などのイベントを実施する。
	A-3	縁結びをキーワードとしたPR (飯山縁結びプロジェクト)	「縁結び」をキーワードに飯山観音をPRするとともに、周辺地域を含めた観光振興を行う。(広報、お守りや御朱印の制作販売、各種縁結びイベントの実施等)
			白山山頂等へのモニュメントの整備(未定)
A-4	観光情報の発信	飯山地区の観光マップ・パンフレットの作成 観光案内施設の設置	
B 基盤づくり	B-1	桜の広場のリニューアル	桜の広場をより快適に使いやすい広場とするため、休憩施設や遊具、園路等の整備を行う。 また、サクラが健全に生育できる環境整備や四季を通じて楽しめる広場とするため草花や樹木の植栽を行う。
	B-2	庫裡橋付近への駐車場整備	白山森林公園の入口となる庫裡橋付近に来訪者用の駐車場を整備する。
	B-3	道路・散策道等の整備改修	桜の広場に至る道路整備(H30現在工事中)と併せわせ、修景や休憩施設等の整備を行う。
			庫裡橋～桜の広場までのエリアの道路沿いや散策道沿い(民有地・公有地問わず)に、サクラやその他の樹木・草花の植栽を行う。
B-4	ハイキングコース及び白山の整備	ハイキングコースやコース沿いの案内サイン、白山池・白山神社の解説板などの補修・整備を行う。また、白山山頂展望台の補修等を行う。 ※インバウンド対応のため外国語併記 ハイキングコース沿いの既存のサクラの周りの高木を剪定してサクラが生育しやすく麓からも見えやすい環境を整えるとともに、新たにサクラを植栽する。	

3. 役割分担とスケジュール

- 施策メニューごとの役割分担とスケジュールは以下のとおりとします。
- 基盤づくりは大部分が行政主体で実施するものになりますが、魅力づくりは公民が連携し、ときに民（地元）が主体となって進めるべき施策もあります。

【表-施策メニューごとの役割分担とスケジュール】

区分	メニュー		役割分担			整備スケジュール			備考
			厚木市	地元	その他	短期 3箇年	中期 4~10年間	長期	
A 魅力づくり	A-1	桜の広場など公共空間を活用したイベントの実施	▲ 公共空間活用の許認可	● イベントの企画・実施		← 継続的に実施 →			
	A-2	市民参加による桜の広場周辺の魅力づくり	▲ 民間企業等との調整	● イベントの企画・実施		← 継続的に実施 →			
	A-3	縁結びをキーワードとしたPR（飯山縁結びプロジェクト）	▲ 広域でのPR支援	● 取組の実施		← 継続的に実施 →			
			● 整備	▲ 整備内容の意見交換		■			
	A-4	観光情報の発信	● マップ・パンフレット作成	▲ 作成に協力		■			
● 施設の整備			▲ 運営に協力		■				
B 基盤づくり	B-1	桜の広場のリニューアル	● 整備	▲ 整備内容の意見交換		■			・長谷寺の整備計画と整合を図る ・ステージ、築山、遊具撤去は別途
	B-2	庫裡橋付近への駐車場整備	● 用地確保整備	▲ 用地確保への協力		■			
	B-3	道路・散策道等の整備改修	● 整備	▲ 整備内容の意見交換		■			
			● 整備	● 維持管理		■	■		・庫裡橋から桜の広場に至る道路沿いやロウバイの里へ向かう散策道沿いなど
B-4	ハイキングコース及び白山の整備	● 整備	▲ 整備内容の意見交換	県、土地所有者（協議調整）	■			・整備優先順位を考慮して、展望台は再整備ではなく既存施設の補修とする	
		● 環境整備	● 植栽、維持管理	県、土地所有者（協議調整）	■	■		・男坂・女坂ハイキングコース沿いなど	

役割分担のうち、事業・取組の主体は●、協力者は▲とする。

4. 事業計画シート

- 本整備構想に位置付けたソフト施策（魅力づくり）とハード施策（基盤づくり）について、施策ごとの課題、事業への取組方針、事業のイメージ等を事業計画シートとして共通フォーマットで整理します。

事業計画シートは次ページより掲載します。